

会 議 録

会議名	佐久市公民館運営審議会
日時	令和3年10月1日(金) 午後3時～午後4時30分
場所	佐久市市民創錬センター 大会議室
出席者	審議会委員 17名中2名欠席 (櫻井美智子委員・岩下奈々委員) 市(事務局):井出教育長職務代理人、柳澤中央公民館長、工藤事務長、三石浅間公民館長、小澤野沢公民館長、浅川中込公民館長、浅川東公民館長、小山臼田公民館長、篠原浅科公民館長、高橋望月公民館長、清水、小川
【主な内容】	<p>会長の選任及び会長職務代理人の指名 会長に井出 亮委員を選任。 会長職務代理人に東城公人委員が指名された。</p> <p>会議事項 (1)令和2年度及び令和3年度の公民館事業報告等について</p> <p>委員 ・資料4ページ 市民会館の利用状況について、野沢会館とあいとぴあは他課の管理ということはわかるが公民館関係の利用者ではあると思うので、数字を載せられないか。</p> <p>事務局 ・次回の審議会からはお示しできるようにしたい。</p> <p>委員 ・人気のある公民館講座は、申し込もうとしてもすぐ定員に達してしまいなかなか参加できないという声を聞いた。できるだけ多くの人が学べるようにしてもらいたい。</p> <p>事務局 ・予算の関係もあるが、午前と午後の2回、同じ講座を企画したり職員が講師を務めるなどの工夫をしていきたい。</p> <p>委員 ・アンケート結果で、「公民館の利用方法がわからない」という人が多かったとのこと。講座や学習グループの活動の様子を公民館報でもっと宣伝したらどうか。</p> <p>事務局 ・館報4月号から3回シリーズで「公民館に行こう」という特集記事で利用方法を広報したり、毎月、「ふれあいあれこれ」のコーナーで写真を交え、公民館活動の様子を紹介したりしている。ほかにもいろいろな機会を捉えて宣伝していきたい。</p> <p>(2)令和4年度の公民館事業について</p> <p>委員 ・利用者には高齢者が多いため、公民館へ出かけるためには交通手段の確保が必要ではないか。</p> <p>事務局 ・ちょうどこの10月から、デマンド交通の新たな仕組みが始まるので、利便性の高いものになることを願っている。</p> <p>委員 ・住んでいる地区にかかわらず、どの地区の講座にも参加できるのか。</p> <p>事務局 ・人気の講座などでは、市民の方を優先するケースがあるが、市民の方であれば、他地区の講座でも参加可能である。</p> <p>委員 ・以前は地域公民館でサロンをやっていたが、コロナの影響でできなくなっている所がある。1, 2年空いてしまうと再開できなくなってしまうのではないかと心配である。</p> <p>委員 ・講師の高齢化により自然消滅してしまう学習グループが増えてくるのではないか。学習グループの活動をどう支援していくか考える必要がある。</p> <p>事務局 ・臼田公民館の初心者俳句講座のように、講座からそのまま継続して学習グループに移行した例もあり、長い目で見ながらも、意図的に支援していくことが必要と考える。 ・学習グループのメンバーから講師を育てていく仕組みも必要である。長年学んでいる人を講師にした事例を学習グループの会議などで紹介して意識を高めていきたい。</p>

(3) その他

- | | |
|----|--|
| 委員 | ・ 臼田公民館のステンドグラスの講座の見学をした。親子で参加し、素晴らしい作品ができて大変喜んでいました。 |
| 委員 | ・ 田口小のコミュニティスクールの見守りボランティアをしているが、子供から貰ったお礼の手紙の中に俳句が入っていて、自分もその子に俳句を入れて返事をした。小学校でも学ぶのかも知れないが俳句講座などの機会は貴重だと思う。 |
| 会長 | ・ 以上で会議事項は終了します。 |